

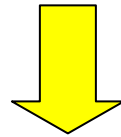
水資源政策の政策評価の目的及び進め方 (検討委員会の役割)について

- 1 国の政策評価の体系
- 2 プログラム評価 (政策レビュー) とは
- 3 プログラム評価実施テーマ一覧
- 4 水資源政策の政策評価

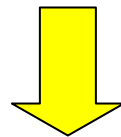
1 国の政策評価の体系

行政機関が行う政策の評価に関する法律」(平成13年6月)

国の行政機関は、その所掌に係る政策について、必要性、効率性又は有効性の観点その他当該施策の特性に応じて必要な観点から、自ら評価し、評価の結果を当該施策に適切に反映
行政機関の長は、三年以上五年以下の期間ごとに基本計画を策定・公表



政策評価に関する基本方針」(平成13年12月閣議決定)



国土交通省政策評価基本計画 (平成14年3月)

2 プログラム評価 (政策レビュー)とは

実施中の施策等を目的や政策課題に応じて一括したもの (プログラム)を対象とし、目的に照らして所期の効果を上げているかどうかを検証

結果と施策等の因果関係等について詳しく分析し、課題とその改善方策等を発見

国民の関心の高い特定のテーマについて掘り下げた分析を行うことにより、関連する政策の企画立案や改善に必要な情報を得ることを目指す

3 プログラム評価実施テーマ一覧

平成16年度～17年度実施

テーマ	関係局
バリアフリー社会の形成 - 交通バリアフリー法等の検証 -	総合政策局、営繕部、都市・地域整備局、河川局、道路局、住宅局、鉄道局、自動車交通局、海事局、港湾局、航空局
空港・港湾アクセスの推進 - 物流効率化・国際競争力強化に向け -	道路局、鉄道局、自動車交通局、港湾局、航空局、政策統括官(物流・国土)
総合的な海上交通安全施策 - 海難事故の防止対策 -	海上保安庁、海事局、港湾局、気象庁、総合政策局
直轄工事のゼロエミッション対策 - 建設リサイクル法の検証 -	総合政策局、官房、営繕部、都市・地域整備局、河川局、道路局、港湾局、航空局
次世代航空保安システムの構築 - 航空交通の増大に向けて -	航空局
プレジャーボートの利用改善 - 放置艇対策等の総合的な取り組み -	総合政策局、河川局、港湾局、海事局、海上保安庁
水資源政策 - 水資源計画のあり方 -	水資源部

4 水資源政策の政策評価

プログラムのテーマ :水資源政策 - 水資源計画のあり方 -

水資源政策

- 水は、持続可能な開発、経済成長、社会の安定及び貧困緩和にとって極めて重要な、限りある貴重な資源」
(第3回世界水フォーラム声明文)
- このため、水資源政策は長期的かつ総合的な観点から計画的に推進することが必要
- 今後、評価を踏まえて我が国の水資源政策のあり方について検討を行うにあたり、本検討委員会を設置し、専門的な学識経験等に基づく助言を頂く

検討会のスケジュール及び議題

開催スケジュール

第1回 平成16年5月

- 水資源に関する世界の現状、日本の現状
- 将来の水需給に影響しうる要因

第2回 平成16年8月

- これまでの日本の水資源政策
- 水に関する既存の政策やビジョン等の紹介
(諸外国、国際機関における取り組みを含む)

第3回 平成16年11月

平成16～17年度にかけ、8回の開催を予定